

明治大学 文学部 英米語学科 総合型選抜

私は、将来やりたいことがはっきりと決まっていなかったため、進路が決定したのは高校3年生の夏季休暇直前でした。担任の先生とたくさん相談をして、後悔しない道に進めてくれました。語学系は考えていなかったのですが、英語はやりたいと思っていたので、英米文学専攻を目指しました。今まで本をそこまで読んでこなかったのが、志望校が決まってからは、少しでも多くの英米文学に触れられるように、本を読んだり、映画を観たりしました。

英語の学習には、高校1年生から力を入れていました。国際科では、英語力を着実に伸ばすことが出来ました。また、短期留学やオーストラリア研修、国籍の違う高校生との交流など、さまざまなことを経験することができ、世界への学びを深めることが出来ました。

受験は1次試験と2次試験がありました。1次試験は書類選考で合否が決まるので、自己推薦書にはとても力を入れました。夏季休暇中も学校に通い、先生に何度もご指導していただきました。国際科での活動やボランティア活動は、自己推薦書にとっても活きました。納得のいくまで何度も修正を繰り返し完成させたので、2次対策を始めるのは遅くなってしまいましたが、担当の先生方にたくさんのご指導をしていただき、進めていきました。小論文では、いろいろな問題を解き、書き方を定着させました。また、文学から根拠を出せるように、英米文学の知識を身につけ、対策をしました。面接では、友達や担当の先生、文学に詳しい先生にもお願いし、どんな形でも答えられるようにたくさん練習しました。1次試験の結果が出てからは、気持ちを立て直し、2次試験の対策を頑張りました。たくさんのご指導のおかげで、本番も、落ち着いて試験を受けることが出来ました。

吉原高校では、みんないろいろな選抜方法で受験するので、それぞれの進路で考えがぶつかり合うこともあり、大変だと思います。あくまでも一般選抜が普通で、先生方も一般選抜を基本に話を進めます。その中でも推薦を目指す人は、自分の軸をずらさずに取り組むことが合格に繋がると思います。私は総合型選抜で受験したので、これから同じ総合型選抜を目指す人にしか助言することは出来ませんが、今まで何気なくやってきたことが自分を推薦できるものに絶対つながると思うので、今の高校生活を全力で頑張ってください。受験期間、本当に大変だと思いますが、自分の力を信じて頑張ってください。